

## みどりの風

今月の表紙「そのまま食べていいの？」(撮影：田中 しおり 様) 第13回 未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト入選作品



## CONTENTS

- 政府物価高騰対策「重点支援地方交付金」に関する緊急要請を実施
- TAC・出向く活動パワーアップ大会が開催される
- 写真で振り返る「農政活動この1年」
- 参議院議員 藤木しんや氏コラム
- 参議院議員 東野ひでき氏コラム
- 農政連総支部だより(宇城)
- 中央会・連合会からのお知らせ

## あぜみち

昨年12月の新聞に、「酪農生産整備の支援再開」や「都府県酪農センター」という文字が大きく掲載されていた。農水省はこれまで、酪農・畜産農家の収益性を高める「畜産クラスター事業」で酪農分野に支援の制限を行ってきた。しかし、酪農家戸数の減少が加速し、将来的な生乳生産量の減少が懸念されることから、令和4年から停止していた牛舎整備への支援や機械導入時の増頭制限もなくすことで、支援再開に必要な予算を令和7年度補正予算案に盛り込み、先月の参議院本会議で補正予算は成立した。背景には、全国の酪農家の戸数が約5%ずつ減少し、全国の戸数1万戸を割り込み、さらなる酪農を生みかねないとの懸念からである。

平成20年には2万戸あった酪農家戸数も半減しており、近年の新型コロナウイルス禍やロシアのウクライナ侵攻による飼料高騰の影響が加わり、高齢化や後継者不足が減少に拍車をかけている。農水省は「酪農が進むペースが速く、将来的には生乳生産が追い付かなくなる懸念が大きい」とし、施設整備や機械導入の重要性を指摘する。

さて、先日農水省が発表した「農業センサス」によると、自営農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者」は約102万人で、15年前の205万人から半減し、5年前と比べても25%減少した。燃料や肥料など資材価格の高騰や猛暑を背景に生産現場の環境は厳しくなっており、高齢者を中心に酪農や廃業が加速したことが要因だとしている。

熊本県の農業従事者は、約3万9千人で同じくこの5年間で約24%、1万2千人減少した。

また、農業従事者の平均年齢は、67.6歳と高い水準で推移している。

コメや野菜など農畜産物の国内生産能力が低下すれば、品不足や価格高騰は避けられず、「令和のコメ騒動」のような食料騒動が常態化し、消費が落ち込み酪農が更に加速化する恐れもある。

# 政府物価高騰対策「重点支援地方交付金」に

## 関する緊急要請を実施

熊本県農政連とJAグループ熊本は、12月5日に県知事、熊本県議会、自民党県連に対し「重点支援地方交付金を活用した農業者の経営安定化等にかかわる緊急要請」を行いました。

要請を行ったのは、熊本県農政連の宮本隆幸委員長、JA熊本中央会の山本浩二常務など関係者が訪れました。

長引く生産資材価格の高止まりは、農家経営を圧迫しており、県産農畜産物の安定生産に支障をきたしかねない状況となっています。このような中、政府は地方自治体が独自に生産資材対策などに充てられる「重点支援地方交付金」を措置する旨を閣議決定し、令和7年度補正予算として計上したことを受けて、熊本県等に要請を行ったものです。

JA熊本中央会の宮本隆幸会長は、「熊本県の農業従事者はこの5年間で約1万2千人も減少しており、生産資材の高騰や猛暑を背景に、離農・廃業が加速化している。政府の経済対策として、『重点支援地方交付金』が措置されたことから、これを活用した農業者の経営安定化に向けた要請をさせていただく」と挨拶しました。

要請を受けた熊本県農林水産部の中島豪部長は「資材価格の高騰が農家経営に重くのしかかっている。物価高騰対策などの各種支援策をしっかりとやっていかなければならない」と応えました。

また、自民党県連の前川収会長は「日本の食料安全保障は農家がいなければ

成り立たない。農家後継者をつくり農業生産を続けていただくためにも、要望については重点支援地方交付金の中でカバーできるようにやっていく」と話しました。

### 緊急要請の内容

1. 生産資材高騰対策メニューの拡充等
2. 農業経営安定化対策にかかる掛金助成
3. 県産農畜産物の購入に対する消費者支援



▲前川収自民党県連会長(左から3人目)に要望書を手渡す熊本県農政連の宮本隆幸委員長

# TAC・出向く活動パワーアップ大会が開催される

## ～JA本渡五和 山下清弥さんが優秀賞を受賞～

JA全農は、11月に横浜市で「TAC・出向く活動パワーアップ大会2025」を開催しました。今回で18回目となる大会には、全国からオンライン参加も含め300人超が参加しました。

TACとは地域農業の担い手に出向くJA担当者の全国統一名称です。全国には316JAで3,419人のTACが活動しており、農業経営者を日々訪問し、農業経営に関するあらゆる相談に応えています。

大会は、地域農業振興・担い手経営支援の要となるTAC活動の日頃の成果を共有し、TACのモチベーションの向上とさらなるレベルアップ、JA事業の質向上につなげることを目的に開催しています。

大会開催にあたりJA全農の折原敬一会長は「JAグループの総合力を発揮し、業務改善や生産基盤を確立していくことがTAC活動の意義だ。地域農業の持続的な発展に向けて重要性が高まっている」と力を込めあいさつしました。

大会では、各ブロックで選出された3JAによるプレゼンが行われ、TAC部門の優秀賞を中四国・九州沖縄ブロック代表として出場したJA本渡五和の山下清弥氏が受賞しました。山下さんは、「夏場の草刈り作業セロ」と題し、除草剤の活用がたぐく畜産生産者と集落営農組合の天草式循環型農業の取り組みを発表しました。除草剤使用によるサシバ工減少の効果と安全性の確保、除草剤購入コストの低減、人件費の削減にも取り

組み成果を出しました。

山下さんは「TACの業務は指導員では手が届かない問題点や課題を解決する大切な業務だと思っている」と語りました。

なお、全農の単独開催は本年度が最後となり、来年度以降はJA全中との共催で全国大会が開催されます。



▲表彰を受ける山下清弥さん



▲大会で表彰を受けた皆さん(前列左から3人目が山下さん)

# 写真で振り返る〔農政活動この1年〕



▲木村敬知事へ令和8年度県農業政策・予算に関する要望書を提出 (R7.12.22)



▲高野洋介県会議長へ令和8年度県農業政策・予算確保を求める要望書を提出 (R7.12.22)



▲坂本哲志衆議院議員に令和8年度農業関係予算に関する重点要請を実施 (R7.11.11)



▲自民党熊本県連へ8月10日の大雨に関する緊急要請を実施 (R7.8.25)



▲県選出国會議員へ8月10日からの大雨に関する緊急要請と令和8年度農業政策・予算に関する要請を実施 (R7.8.17)



▲参議院選挙に向け県下3地区で農政推進大会を実施 (R7.6.6)



▲参議院選挙に向け県南地区農政推進大会を実施 (R7.6.6)



▲木原稔衆議院議員に食料・農業・地域政策の推進に向けた政策要請を実施 (R7.5.13)



▲財務省主計官に食料・農業・地域政策の推進に向けた政策要請を実施 (R7.5.13)



▲農政連リーダー研修会を開催し自民党政権と農政の舞台裏を聴講 (R7.3.3)



▲参議院議員選挙に熊本県選挙区から立候補する馬場成志氏に推薦状を授与 (R7.3.3)



▲第13回未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテストで入賞した皆さん (R7.3.3)

全国農政連推薦・県農政連公認  
参議院議員藤木しんやの

## 永田町でも百姓宣言

【ゲタ対策単価決定】

11月26日、自民党食料安全保障強化本部・農業構造転換推進委員会・総合農林政策調査会・農林部会合同会議にて、畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)の交付単価等について決定致しました。農水省を通じて財務当局との折衝を経て、交付金単価および関連対策の決定に至りました。私は、野菜・果樹・畑作物等対策委員長として、尽力して参りました。相当厳しい折衝となりましたが、何とか関連対策を含め生産者手取りの確保に資する結果になったと思えます。

【農林部会として補正予算を了承】

11月26日、食料安全保障強化本部・総合農林政策調査会・農林部会合同会議が開催され、令和7年度補正予算重点事項について、農林部会として了承されました。5年間の農業構造転換推進期間のスタートとして重要な補正予算となります。私もこれまで継続的に意見してきましたが、今回の対策から共同利用施設事業の補助率拡充が実現しました。私も、共同利用施設事業はじめ今回の予算が現場で十分活用されるよう尽力して参ります。

【令和8年度税制改正とりまとめ】

12月12日、自民党税務調査会小委員会が開催され、各部会からの税制改正要望にかかる最終とりまとめが行われました。農林部会の重点要望は、ほぼ要望どおりに措置いただきました。小委

員会終了後、農林関係団体への最終報告会が開催されました。私は、A班班長として団体の皆様方に結果を報告させていただきました。これまで農林部会長代理として税制調査会の議論にほぼ毎回参画させていただきましたが、一定の成果を出すことができました。

【令和8年度畜産・酪農対策決定】

12月19日、自民党畜産・酪農対策委員会にて、令和8年度畜産・酪農対策を決定しました。私は、畜産・酪農対策委員会事務局次長として、令和8年度対策の検討の中で、北海道および南九州への現地視察やWEBでの現地意見交換会、関連会合での司会進行や意見発言等に尽力して参りました。現在の畜産・酪農経営は相当厳しい状況ではありませんが、今回の一連の対策がトータルパッケージとして、生産者の所得向上と営農継続につながることを切に願っております。引き続き、畜産・酪農生産者および産地のために全力で頑張ります。



▲12月18日参議院農林水産委員会  
畜産物価格審議、委員長として司会進行

全国農政連推薦・県農政連推薦  
参議院議員東野ひできの

## 現場と共に

【参議院農林水産委員会初質疑】

理事に就任した参議院農林水産委員会で、12月18日に初めて質疑に立ちました。テーマは「畜産物等の価格安定等に関する件」です。秋以降、全国各地から要請をお受けし、実際に現場で視察も行き、畜産・酪農現場の苦しい実情を理解したうえで臨みました。わずか15分と非常に短い時間ではありましたが、鈴木農水大臣にも現場の声を直接ぶつけることができました。今後現場の声をしっかりと伝えてまいります。

【畜産・酪農対策委員会北海道視察に出席】

12月6〜7日に自民党畜産・酪農対策委員会として、藤木眞也先生と共に北海道を視察しました。計3地区を視察し、直接生産者、団体の皆さんの声をお聞かせいただきました。視察により、実態や課題もはつきりしました。お聞かせいただいた切実な声を、今後の畜産・酪農対策に反映してまいります。

【食料安全保障強化本部・総合農林政策調査会・農業構造転換推進委員会・農林部会合同会議に出席】

12月16日(火)に開催された合同会議に出席しました。議題は「食糧法の見直し」です。

米穀の流通構造の把握強化や生産調整に関する規定の削除等が論点でしたが、生産調整の文言削除については、う

まく伝えないと現場が混乱しかねないことから、その旨発言しました。食糧法の見直しにかかる議論は今後も続けられますが、引き続き現場の声を伝えてまいります。

【経済産業部会・環境部会・文科科学部会・農林部会・国土交通部会合同会議に出席】

12月15日(月)に開催された合同会議に出席しました。議題はメガソーラー対策です。2012年にFIT制度(固定価格買取制度)が開始されて以降、わが国における太陽光発電は急速に拡大しましたが、自然環境の破壊や景観悪化等様々な課題も顕在化しています。これらの課題が再発しないよう、必要な規制は強化する必要があります。会議では賛成・反対の立場から侃々諤々の議論が繰り広げられました。



▲参議院農林水産委員会での初質問に立ちました

# 宇城総支部だより

県下には十一の総支部がありこの活動状況を毎月順次紹介していきます。

今回は、「農政連宇城総支部」(丸田博雄総支部長・JA熊本うき組合長、緒方秀俊事務局長・JA熊本うき総合企画部長)を紹介します。

宇城総支部はJA熊本うきの事業区域である熊本県のほぼ中央に位置し、3市(宇城市、宇土市、熊本市南区城南町と富合町)に1町(美里町)を管内としています。山と海の両方に恵まれ、自然豊かな地域です。農業は、中山間、平坦、半島からなる地形の特色を生かし、米や麦、施設園芸、果樹を中心とした多彩な農畜産物が生産されています。

総支部の活動は盟友を構成する5,872戸からなり、丸田総支部長のもと活動を取りまとめる事務局を総合企画部内に設置しています。組織の代議員はJA役員や生産部会、青壮年部、女性部、地域代表など幅広く構成され、農政活動においては盟友とともに一致団結し励んでいます。

## ● 昨年夏の参議院議員選挙で東野ひでき氏と馬場成志氏を応援



▲農政への想いを熱く語る東野ひでき氏

昨年7月の参議院議員選挙では、全国農政連と熊本県農政連が全国比例区代表として推薦した東野ひでき氏を、熊本県選挙区では馬場成志氏を宇城総支部として強力に応援しました。

7月の遊説では本所3階に盟友や青壮年部・女性部、役員が多数駆け付け、全員で支援しました。また、6月に熊本市民会館で開催された馬場成志氏の決起大会にも支援の声を届けました。

## ● 東野ひでき支援拡大キャラバンを支援

一昨年の9月には県農協青壮年部協議会が実施した「東野ひでき支援拡大キャラバン」を、JA熊本うきとしても青壮年部・女性部一緒に支援しました。東野ひでき氏は北海道出身で、自分

も農家を経営しながらJA組合長なども経験し、また全国のJAを飛び回りながら、生産者の生の声を聞き、その声を、思いを国政に届けてくれるものと期待しています。

## ● 藤木しんや参議院議員、東野ひでき参議院議員を表敬訪問

昨年12月には東京の参議院議員会館の藤木しんや事務所にて藤木しんや議員と東野ひでき議員を表敬訪問しました。女性部役員を中心としたメンバーで訪問し、意見交換を行いました。



▲藤木しんや議員・東野ひでき議員と意見交換をしました

## ● ちやぐりんフェスタ2025を開催

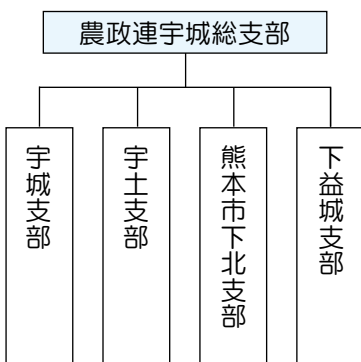
熊本うきでは、昨年11月にちやぐりんフェスタを開催しました。宇城管内の地域住民など約2000人が来場する

一大イベントとして地域貢献・JAのファンづくり活動を行いました。イベント運営には役員はもとより、青壮年部や女性部など多くの仲間が参加しフェスタを盛り上げました。



▲米価高騰を受け米のつかみ取りを実施しました

## 農政連宇城総支部構成図



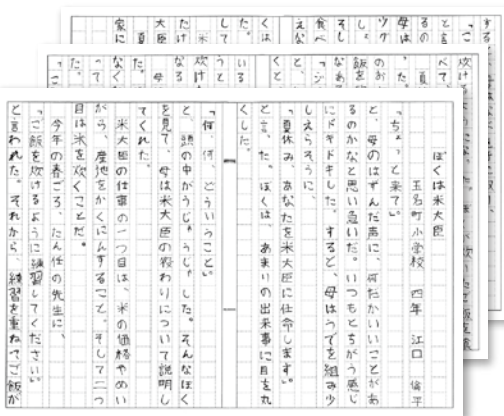
# 第50回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール表彰式を開催

JA熊本中央会は12月13日、ホテルメルパルク熊本にて「第50回『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール」の表彰式を開催しました。お米の良さと食料や農業の大切さを学んでもらう目的で毎年開催しています。最高賞の熊本県知事賞には、作文の部で江口倫平さん(玉名町立玉名町小学校4年)、図画の部で堤青奈さん(山鹿市立鹿北小学校3年)が選ばれました。県内小・中学校から作文の部に1、007点、図画の部に2、329点の応募がありました。

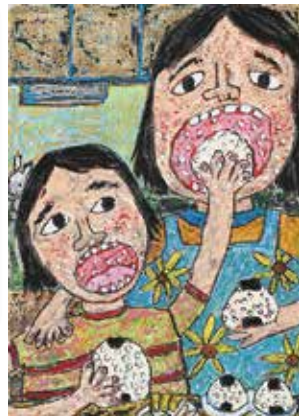


▲特別賞受賞者のみなさん

この他、JA全中が実施した全国コンクールでは図画部門で告本百合佳さん(山都町立矢部小学校4年)が全国農業



▲作文の部「ぼくは米大臣」



▲図画の部「おいしい おにぎり」

協同組合中央会会長賞を受賞されました。また、優秀賞には作文部門で菊池奏汰さん(熊本市立田原小学校3年)、図画部門で米村実莉さん(熊本市立城東小学校1年)が選ばれました。同会の宮本隆幸会長は「自分たちの地域や日本の農業について考える貴重な機会になったと思います。たくさんご飯を食べ、健康な心と体を育み、次代を担う立派な社会人になってください」と挨拶しました。

# 第24回RKK学童駅伝大会に協賛 くまもとのおいしいもので子どもたちを笑顔に

JA熊本経済連は12月20日、熊本市のえがお健康スタジアムで開かれた「第24回RKK学童駅伝大会」に特別協賛しました。未来を担う子どもたちを応援し、県産農畜産物の提供を通じて食と農の魅力をPR。大会には小学4年生から6年生の児童約660人が参加し、5区間8キロのコースを駆け抜けました。

入賞チームには、くまもと黒毛和牛「和牛や」くまもとのりんどうポーク、熊本県オリジナル品種のお米「くまさんの輝き」などを贈呈。また、併せて企画したお楽しみ抽選会では、味彩牛や「ゆづべに」「いちご、冷凍炒飯セット」などの豪華賞品を贈りました。参加賞としては、「くまさんの輝き」を使ったおにぎりと、「ミニトマト」「アンジエレ」、「森のくまさん」のティーバックを配布しました。

同連の丁道夫代表理事会長はあいさつで「しっかり食べて体づくりをすることは大切。練習の成果を出せるようゴール目指して頑張ってほしい」と児童たちを激励しました。



入賞賞品や抽選会賞品として  
県産農畜産物・加工品を贈呈



約660人の児童が駆け抜けました



「ママリロくち」コミ大賞2026「受賞！」

JAの子ども共済「学資応援隊」

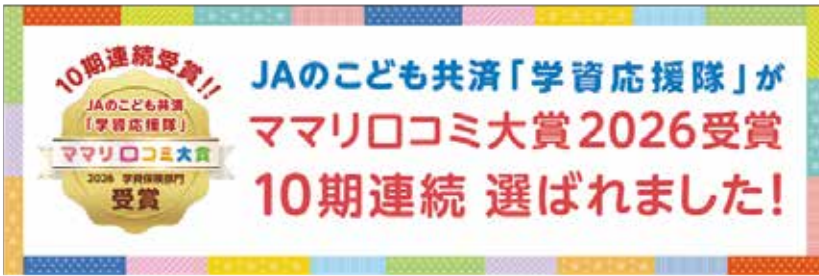
JAの子ども共済「学資応援隊」が、コネヒト株式会社が運営する国内最大級のママ向けサービスアプリ「ママリ」にて実施した「ママリコミ大賞2026」(学資保険部門)を受賞しました。今期で10期連続受賞です。

「ママリコミ大賞」は、ママ向けアプリ「ママリ」が、アプリ「ママリ」内の月間400万検索・110万投稿の

データをもとに、全国の子育て家族が支持している商品・サービスを厳選して紹介する企画です。

JAの子ども共済「学資応援隊」は地域密着型の活動と高い貯蓄性が選ばれた決め手となっています。この機会に、お子さまの学資金づくりを、JAの子ども共済「学資応援隊」で準備してみませんか？詳しくは最寄りのJAへお気軽にお尋ねください。

JA共済が選ばれています!!



JAの子ども共済「学資応援隊」の4つのポイント

★ポイント1★

学資金のお受取りは、進学時期に合わせた中学・高校・大学プランからお選びいただけます。

★ポイント2★

高い貯蓄性と保障がバランスよく備わっていて、効率的に資金準備できます。

★ポイント3★

ご契約者(親族)がもしものとき※、その後の共済掛金はいただきません。  
※共済掛金払込免除不担保特則を付加する場合があります。

★ポイント4★

お子さま・お孫さまのために75歳までご契約いただけます。

関節痛

関節は身体を動かすための組織です。人間にはいろんな関節がありますが、今回は「肩(肩こり)」と「腰(腰痛)」についてお話しします。

【肩こりのメカニズム】

肩こりは、筋肉の緊張が積み重なり、血行障害を起こし、筋肉内に老廃物が蓄積することにより起こります。

【肩こりの主な原因は?】

- ①姿勢の悪さ ②冷え ③運動不足
  - ④ストレス ⑤自律神経の不安定
  - ⑥視力の異常 ⑦首や肩の異常
  - ⑧骨や椎間板の老化 などがあります。
- 【肩こり解決のポイント!】  
肩や首の緊張をほぐし、血行をよくすることが肝要です。



一方、姿勢や動作と関係のない原因不明の痛みがある場合や、安静にしても痛みが治まらない場合は、無理をせず医師に相談しましょう。

【腰痛のメカニズム】

二本足で生活する人間の骨格は、重たい上半身を腰(腰椎)で支えるという不安定な構造をしています。そのため、腰に無理が重なり、腰痛が起こります。

【腰痛を防ぐには?】

1. 無理な姿勢をなるべくとらない  
無理な姿勢は腰に負担が掛かります。一方、腹筋・背筋を鍛えて、筋肉で背骨を支えることも大切です。
2. 中腰で重い物を持たない  
重たい荷物を運ぶ際の注意点は、まず、足を肩幅に開き安定した姿勢を作ります。背中がまっすぐに保ち膝を曲げ、荷物を体に近づけて、膝と股関節の力で持ち上げると腰への負担を軽減できます。
3. やわらかすぎる寝具や無理な姿勢で寝ない  
1日の約3分の1は睡眠です。やわらかすぎる布団やベッド・高すぎる枕等、不自然な姿勢で寝ることによって、首や腰に余計な負担が掛かります。
4. 椅子の高さは足の長さに合わせる  
無理な姿勢をとりたくないためにも、最適な高さの椅子を選びましょう。足首・ひざ・股関節が直角になる高さが最適です。

肩こり・腰痛に悩んでいる方は、大変多くいらっしゃいます。適切な予防・治療を行い、快適な日常生活を送りましょう。



**KUMAMOTO**

# 第50回 JA植木まつり

おかげさまで50年。ありがとうをこめて。

## 50th anniversary

日時 令和8年1/24(土) ▶ 2/23(月) \*  
 開園時間: 9:00~16:00  
 会場 熊本県農業公園(カントリーパーク)  
 熊本県合志市栄3802-4

**JA熊本経済連**

■天候によりイベント内容が変更になる場合がございます。

ご契約者さまの  
 “もしも”にも備えて。  
 教育資金の準備は  
 “着実”に。

**JAのこども共済**

2025年4月から  
 給付率がアップ  
 しました!  
 高い給付率が進む  
 ※令和8年2025年度1月  
 1日現在適用率

妊婦中(出生予定日の140日前)からご加入いただけます

給付率 **約115.6%**

「こども共済」資料請求キャンペーン  
**マルチポーチ  
 プレゼント!!**  
 2025年  
 3/27迄

くらしの保障、相談するなら **JA共済**

熊本県 大曲と海城のみらい。JAグループ

農業についてのさまざまな  
 『クエスチョン』を発信

JAグループ熊本

# Do You? のうぎょう? のクエスト

**KAB 熊本朝日放送にて  
 毎週金曜 夜7:54~放送中**

**発行／熊本県農業者政治連盟**

熊本市中中央区南十反畑町2-3 電話 096-3-3068-1284

編集責任者／中村 隆宏

●発行日／令和8年1月15日(毎月1回15日発行)

●定価／一部50円(但し会員の購読料は会費の中に含む)

熊本のバスや電車での決済方法が、クレジットカード決済へ変更になって約1年になります。これまでは、全国交通系のICカードSUICAを使っていました。東京や大阪出張時も大変便利なキャッシュレスカードでした。東京に出張すると、電車に乗るたびに、電車を乗り継ぐたびに券売機で乗車キップを買っていました。ある時、先輩がキップを毎回買う私を見て、SUICAカードの購入を教えてくださいました。もう20年以上も前の話です。

このカードがあれば現金を持ち歩かなくていいし、時間の節約にもなります。熊本のバスや電車でも使えて非常に便利でした。しかし、昨年の2月から熊本市電を除いて、この全国交通系のICカードが使えなくなり、不便を感じています。クレジットカードのタッチ決済が使えるところでしたが、カード自体にタッチ決済機能が付帯されていないと使えません。私のカードにその機能は付いていません。

「大きなちりめんオバケ」



撮影：平島 千佳 様  
 第13回 未来に伝えたい農業・農村の風景  
 フォトコンテスト入選作品

あ  
 と  
 が  
 き